

副町長退任あいさつ

前小野町副町長 阿部 京一



このたび、3月22日をもって、小野町副町長の職を退任いたしました。

平成28年4月1日の就任以来、大和田町長のもと、2期5年にわたりまして、「小野町に住んでよかったと思えるまちづくり」を目標といたしまして、職務にあたっております。この間、多くの町民の皆さま、そして議会議員の皆さまから、ご指導、ご支援、ご協力を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。

現在の地方自治体は、山積する行政課題に迅速に対応することが求められております。

小野町におきましても、急激な人口減少への対策が喫緊の課題となっております。

平成30年度から令和4年度までの5年間で計画期間と

し、「人も自然も元気 みんなの笑顔が かがやくまち」を将来像に掲げる『未来へおのまち総合計画』『小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略【2020改訂版】』『小野町過疎地域自立促進計画』に基づきまして各種の事業を実施してまいりました。

職員としての期間を合わせまして、40年にわたり愛するふるさと、小野町のまちづくりに関わりましたことは、私にとりまして大変光栄なことであり、感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、役場職員として、また副町長として、『我以外皆我師』を信条といたしまして、仕事をさせていただきました。町民の皆さまをはじめ、これまで私をご指導いただきました皆さまに、重ねて感謝を申し上げます。

結びに、村上町長のもと、小野町の更なる発展と皆さまのご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げます。退任のあいさつといたします。

教育長退任あいさつ

前小野町教育長 西牧 裕司



町民の皆さま、2期7年間大変お世話になりました。このたび、任期満了につき、4月1日をもって教育長を退任いたしました。

平成26年4月2日から当初の4年間、そして教育委員会の制度の改正による3年間、町民の皆さま方には公私ともに学校教育をはじめ社会教育、社会体育とさまざまな場面で仕事をさせていただき、また多くの方々より心温まるお言葉やご指導やご助言をいただきました。誠にありがとうございました。ありがとうございました。

大和田昭前町長、鈴木慎也元副町長、阿部京一前副町長、町職員、さらには教育委員会の職員とともに、町民の皆さま方からのご意見やご協力をいただきながら、教育長という立場で、教育行政に携わることができましたことは、私にとって大変光

栄であり、貴重な経験でありました。

小学校統廃合では、平成29年3月に「小野町教育環境整備の基本方針」を改訂し、町内4つの小学校を統合することとし、スタートいたしました。統合にあたっては、保護者はもちろん地域住民の方からさまざまなご意見をいただきました。その中で特に強く感じたことは「子どもは町の宝」という共通の思いでした。地域から学校はなくなりませんが、子どもたちは地域の一員として住民の方たちとともに成長していったほしいと願っています。そして令和2年4月1日に開校した新生

「小野小学校」では、「未来に向かって夢を持ち続ける子ども」に育ってくださることを強く願っています。

また教育の課題でもある学力向上については、県教育委員会の「学びのスタンダード」推進事業で、学力向上に向け小中学校の教職員と児童生徒が一丸となって取り組んだことで、多くの成果を上げることができました。

その成果が認められ、小野中学校では福島県教育・文化関係の表彰を受賞することができました。

新元号「令和」になり、新型コロナウイルス感染症が世界中でまん延し、多くの犠牲者が出たことは大変悲しい出来事であり、小中学校の臨時休校や夏季・冬季休業の短縮が余儀なくされたことは、子どもたちに大きな不安を与えることになりました。10年前に起きた東日本大震災とはまったく異なる出来事であり、1日も早く終息を願うばかりです。

どうか町民の皆さま方には、町民一丸となって「人も自然も元気 みんなの笑顔が かがやくまち」の実現を目指していただきますよう、心からお願ひ申し上げます。

最後に、あらためまして小野町の皆さまに心から感謝申し上げますとともに、小野町の子どもたち一人ひとりが、夢や目標に向かって、心豊かにたくましく羽ばたいていくことを祈念し、退任のあいさつといたします。